

「誤用」から日本語学習の「成果」をはかる試み

--- 中級学習者による「旅」の作文を用いて ---

Interpreting the 'Development' of Intermediate Japanese Learners
through 'Error Analysis' on Essays Regarding Travel

ネスター・セラノ Nestor Serrano
入戸野みはる Miharu Nittono

(コロンビア大学 Columbia University)



1. はじめに

- 日本語教育における誤用研究の重要性とその有用性が度々議論され、その有用性が認められている(市川 2012; 大塚・林 2010; 村田 2015; 森本 2015)。
- 誤用研究の内容は多岐にわたる。
 - (例)日本語学習者集団の一回の作文における誤用を全面的に分析 (村田 2015)
 - 特定の言語項目や文法表現を分析(鈴木 2002; 陳 2012)
 - 作文指導に関する提案 (大塚・林 2010)
- 「誤用」を言語習得の一過程ととらえ、「誤用」から「成果」を探る研究例は数少ない。



2. 本研究の目的

- 1) 日本語学習を始める前と、一年に及ぶ学習の後に書かれた作文を分析評価する。
- 2) 両者に見られる誤用を比較検討することにより、学習の成果をはかる。
- 3) どのような環境下で誤用が頻繁に起こるのか、また、なぜ起こるのかを究明する。
- 4) 分析結果を教材作りや教授法に活かす。

3. 分析資料

- Institutional Review Board (IRB)の認可のもと、データを収集。
- 2010年秋から2018年春にコロンビア大学日本語学科に在籍した中級日本語学習を対象に実施したEntrance Exam (秋)の作文100本、及び、Exit Exam (春)の作文100本を使用。
- 中級日本語学習者を対象に2018年(春)に実施したアンケートを使用。

表 1

作文100本の内訳

学年 日本語 レベル	Entrance Exam 秋学期始めに実施		Exit Exam 春学期終わりに実施		収集した 作文の 総数
	受験前ま での学習 時間	収集した 作文の数	受験前ま での学習 時間	収集した 作文の数	
2年生 中級	150 (時間)	100 (本)	300 (時間)	100 (本)	200 (本)

表 2

作文のトピック

学年	Entrance/Exit Exam の作文のトピック (所要時間20分)
2年生	<p>Write about your ideal/favorite vacation.</p> <p>* This is an opportunity for you to display your existing knowledge of Japanese grammar, kanji and vocabulary, so please do so to the best of your ability.</p>

4. 資料の分析と考察

誤用類型の設定

本研究にあっては、先行研究(青柳 2003; 寺村 1999; 村田 2015; 森本2015)を基に我々独自の類型を設定

誤りの種類	例 (誤=>正)
I. 表記	
a. 漢字	友達を持ちました=>待ちました 旅行=>旅行 いい元気=>いい天気
b. 送り仮名	好きな旅行=>好きな旅行 泳ました=>泳ぎました 思もう=>思う
c. カタカナ	ヨーロッパ=>ヨーロッパ デズニーランド=>ディズニーランド
d. ひらがな	りよこ=>りょこう きょうねん=>きょねん も一度=>もう一度
II. 語彙	五つの友達=>五人の友達 祭りに出席した=>参加した 先年=>去年
III. 文法	
a. 助詞	そこで山がありました=>そこに山がありました 海に泳いだ=>海で泳いだ
b. 活用	きれい所=>きれいな所 休みをとて=>とって いいだと思う=>いいと思う
c. 語句接続	食べましたり、遊びましたりしました=>食べたり、遊んだりしました 勉強しようつもりです=>勉強するつもりです
d. 自・他動詞	そこは閉めていました=>閉まっていました 私は田舎で育てた人=>育った人
e. 文法表現	私にとって北京が一番過ごしやすいと思う=>私は北京が一番過ごしやすいと思う
IV. 一文レベル	
a. 呼応	なぜなら、～のは不幸だと思います=>なぜなら、～のは不幸だと思うからです 私の趣味は絵を書きます=>絵を書くことです
b. 時制	去年の夏、そこへ行きます=>そこへ行きました
V. 談話レベル	
a. 文末誤り	そこはとてもいいである=>とてもいい 行ったである=>行った
b. 文末なし	そこはとてもよかったです。もう一度ぜひ行きたい。=>行きたいです
c. 接続詞	ハワイはすばらしかった。それから、来年も行くつもりだ=>それで、来年も
d. 逆の意味	先生、どこかいい所を紹介させてくださいませんか=>紹介していただけますか

表 4

類型別誤用数

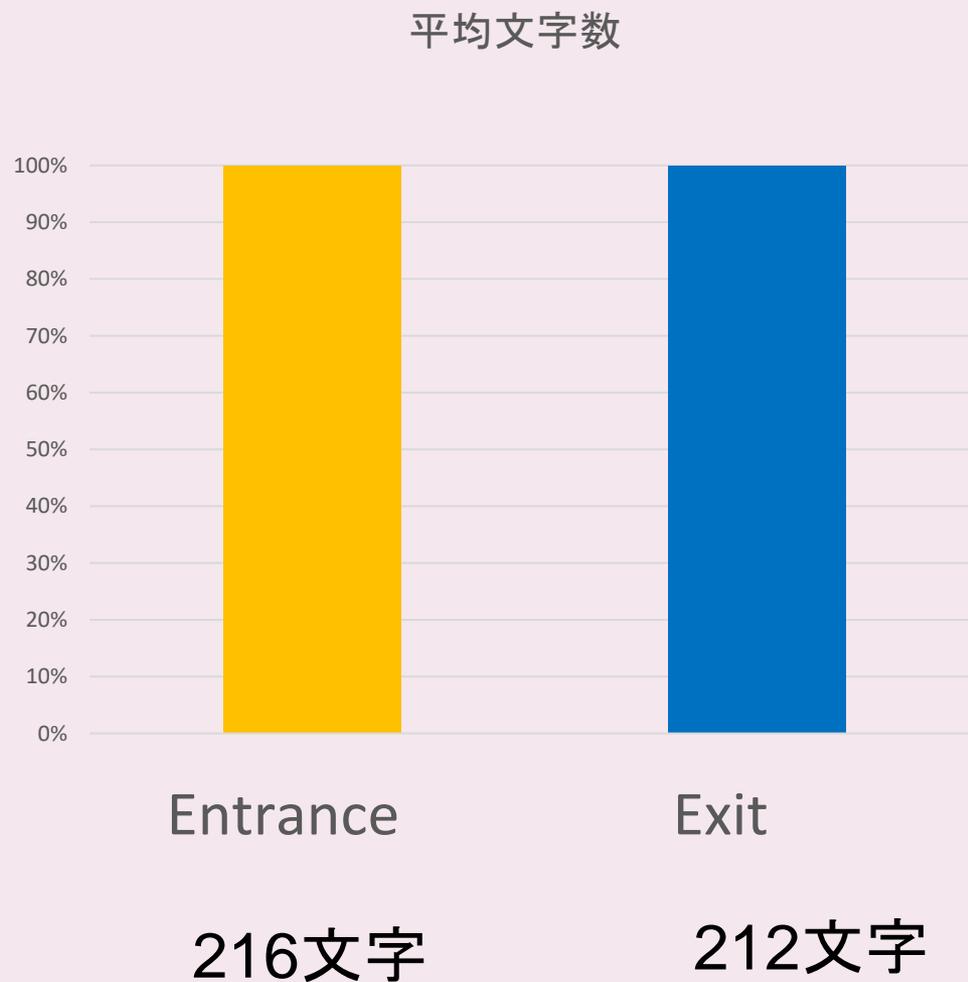
誤りの種類	Entrance	Exit	成果
I. 表記	439 (32%)	433 (31%)	-1%
a. 漢字	135 (10%)	235 (17%)	+7%
b. 送り仮名	50 (4%)	48 (3%)	
c. カタカナ	95 (7%)	62 (5%)	
d. ひらがな	159 (11%)	88 (6%)	
II. 語彙	182 (12%)	255 (18%)	+6%
III. 文法	616 (45%)	606 (44%)	-1%
a. 助詞	245 (18%)	237 (17%)	-1%
b. 活用	180 (13%)	106 (8%)	-5%
c. 語句接続	64 (5%)	145 (11%)	
d. 自・他動詞	1 (0%)	2 (0%)	
e. 文法表現	126 (9%)	116 (8%)	
IV. 一文レベル	55 (4%)	37 (3%)	-1%
a. 呼応	0 (0%)	19 (2%)	
b. 時制	55 (4%)	18 (1%)	
V. 談話レベル	98 (7%)	55 (4%)	-3%
a. 文末誤り	23 (2%)	26 (2%)	
b. 文末なし	34 (2%)	5 (0%)	
c. 接続詞	37 (3%)	17 (2%)	
d. 逆の意味	4 (0%)	7 (0%)	
合計	1390 (100%)	1386 (100%)	

図 1

Entrance/Exit 誤用総数



図2 作文一本あたりの平均文字数



Entrance Exam 作文例 (漢字の使用量が少ない)

パリはわたしのいちばん好きのリョコウ。去年の
春やすみにわたしはともだちとパリへ
いきました。このリョコウのまえに、ヨーロッパ
へ、たことがぜんぜんありませんでした。
わたしはともだちとアポートをよやくしましたから、
このリョコウはとてもやすかったです。わたし
たち、いろいろな有名ところを見られました、
そして、たくさんおいしいものをたべられました。
まいにち、あたらしいびじゅつかんへいきましたから、
まいにちつかれました。でも、このリョコウ
はきって わすらないのおもいでです。

私にとって、一番思い出す旅行は大学を卒業の時、ドイツへの旅行です。ベスト友達がドイツのMunichで働いていたので、彼女に会いに行きました。Munichはきれいで、静かな町です。ドイツ人は環境の問題を気にしているので、町にたくさん木を植えます。毎晩、一人でか友達とその緑色い町を散歩して、とても楽しみました。その町の人々は親切で、英語が上手でなくても、簡単な交流も楽しみの一つでした。二週間ぐらい泊まったので、いろいろな所がゆくり訪れられました。それに、友達と一緒にその所へ行へのはもっと楽しみをもらいました。

図3 誤用数とその誤用数に値する人数の分布

Chart Title

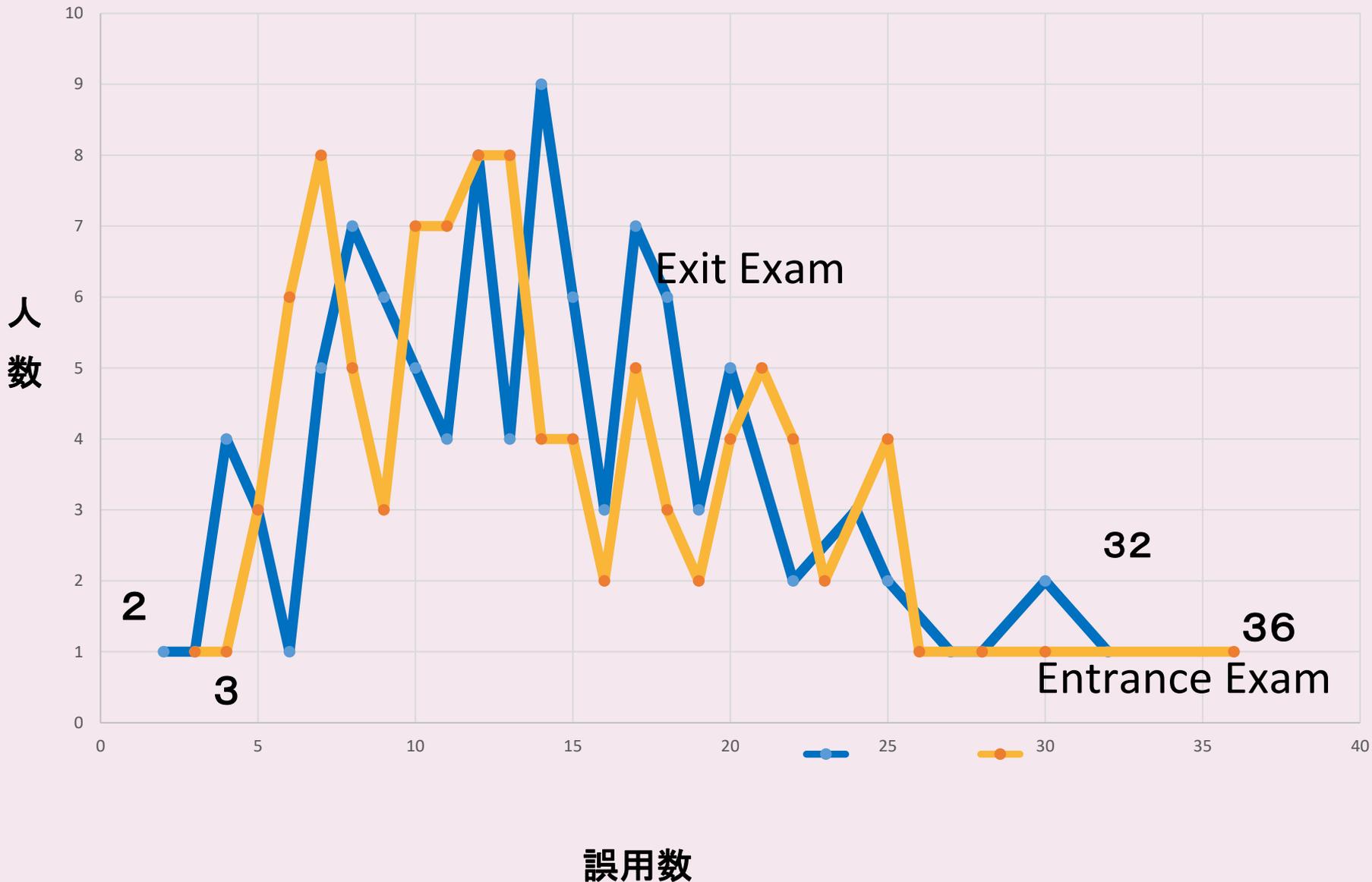


図4 作文一本あたりの平均誤用数

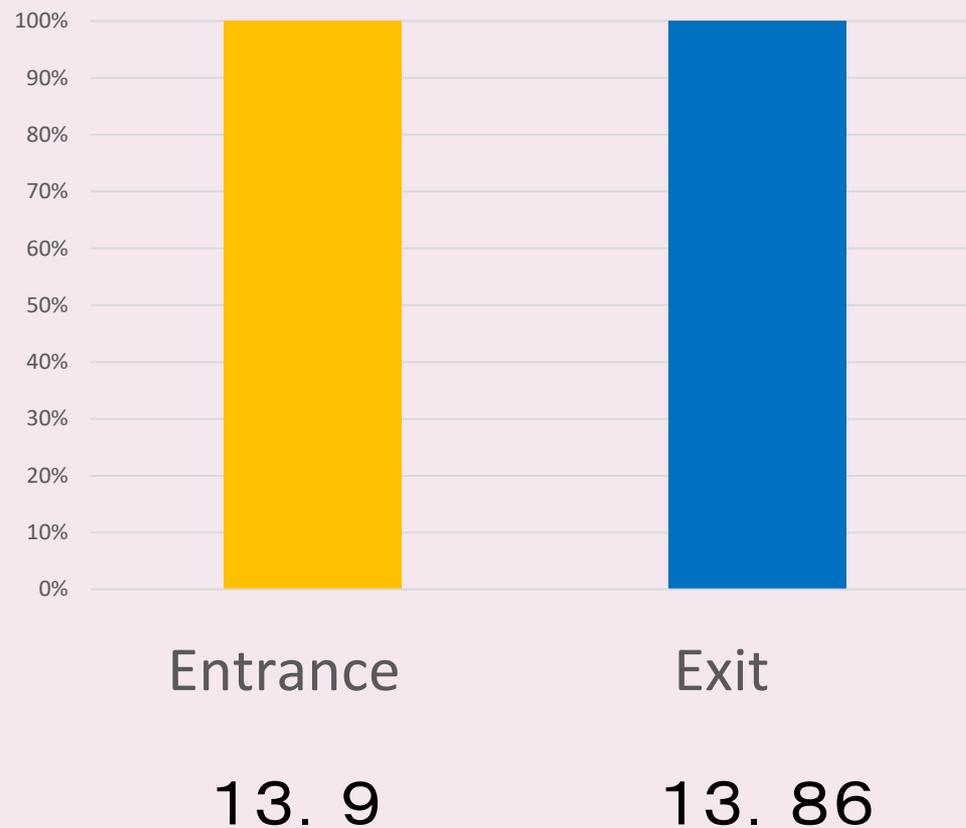


図5

Entrance・Exit

誤用類型概観

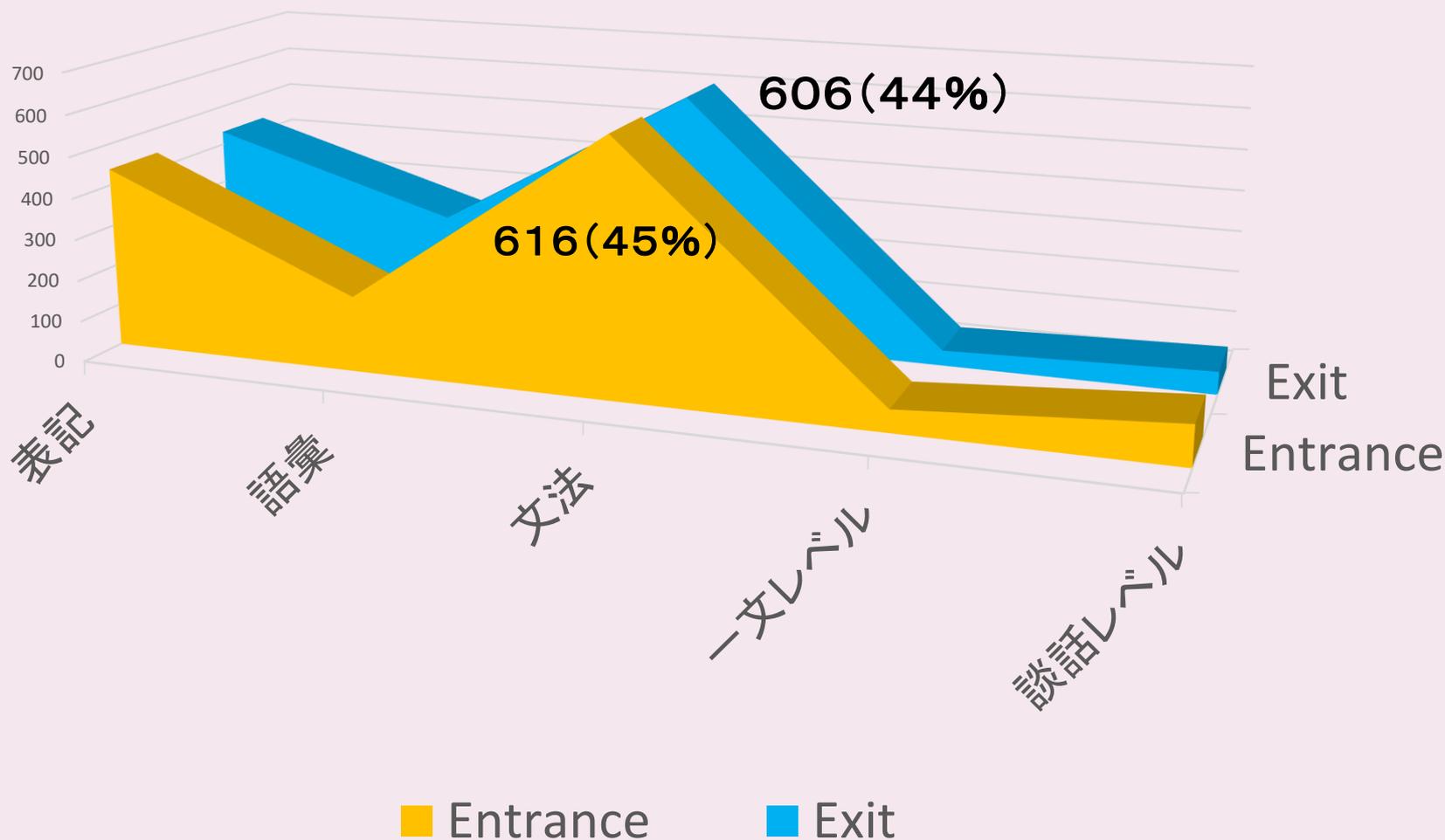
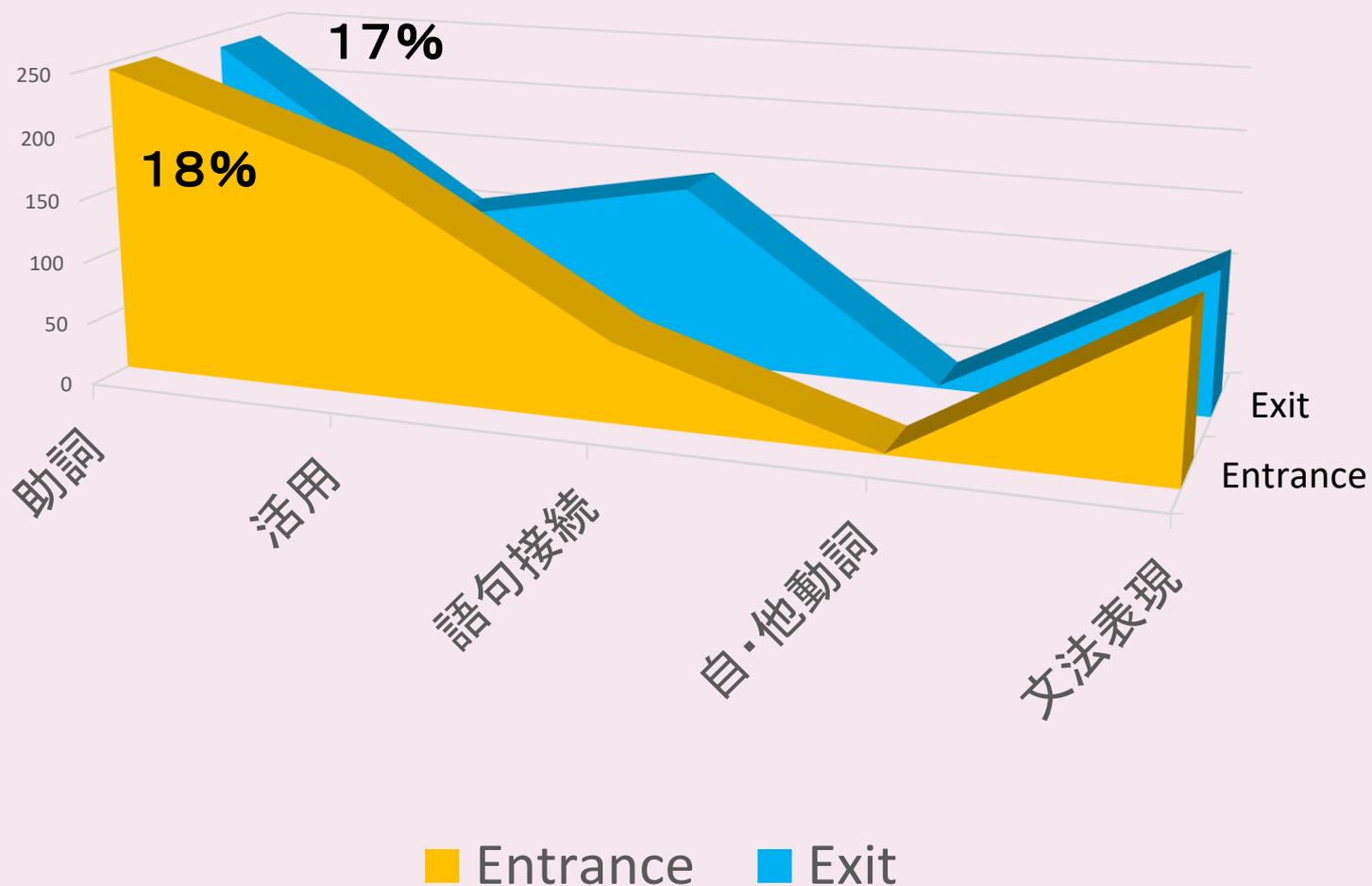


図6 Entrance・Exit 文法誤用概観



助詞の誤用例: Entrance では「に」「で」の誤用多し

- そこに食べる食べ物はおいしくて安かったです。
- 家族はそこで住んでいます。
- 一番したいことは原宿に買い物することです。
- 3週間で日本に泊まります。
- Nantucketしまで小さい車がありません。

助詞の誤用例: Exit では「は」「が」の誤り多し

例:

- 世界中で私**は**一番行きたいところは、スペインのイビザです。
- 日本に一番行きたい理由は家族**は**日本に住んでいますからです。
- 私**が**子供の頃からヨーロッパへ旅行したがっている。母**は**美術家のため、家に彫刻や美術の歴史などについての絵本がいっぱいあった。
- 私**が**いつも旅行したいんですが、体の調子がよくないから、いろいろな所へ行けません。
- ハワイに行きたい。ハワイ**が**生まれたところであるばかりでなく、そのところに海があるからだ。
- 私**が**空をとても好きですから、外国の空を写真によって覚えたいです。
- サンフランシスコほど現代な町**が**ありません。

活用の誤り: Entrance(13%)=>Exit (8%)

Entranceにおける活用誤用例

イ形容詞

- いいでした=>よかったです
- おもしろいでした=>おもしろかったです

動詞過去形

- 日本へいた時=>日本へいった時

動詞「て」形

- 温泉にはいて=>温泉にはいって

語句接続の誤用例: Entrance 64(5%)=>Exit 145 (11%)
Exit においては初級文法、特に長い構文に誤り多し

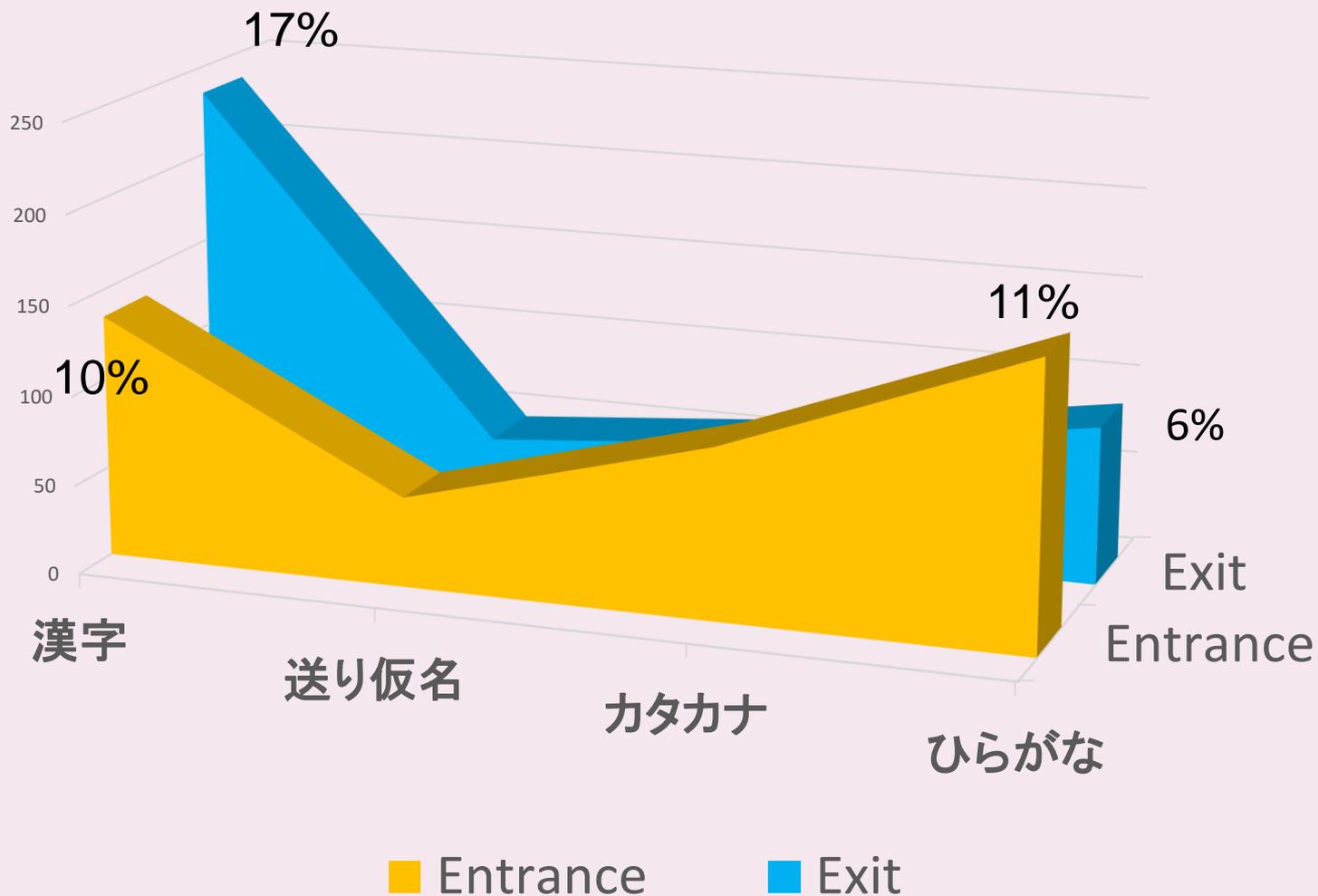
- 海で泳ぎましたり、海岸でねましたりしました。
- 家族と一緒に楽しんだり、一週間でらくの人生をしたりするから、とてもいいりょこうした。
- 美しい景色を見ましたし、美味しい食べ物を食べましたし、旅行はとてもよかったです

文法表現の誤用例 : Entrance (9%), Exit (8%)

Exitにおいては春学期学んだ似通った表現の誤り多し

- 友達**にとって**、そこは一年中天気がいいところだそうです =>
友達**によると**、そこは一年中天気がいいところだそうです
- 東京でお酒を飲む**ために**いいところを教えてください =>
お酒を飲む**の**にいいところを教えてください
- そこで暗くなる**までに**遊びました => 暗くなる**まで**
- 有名な観光地へ行く**ではなくて**、あまり人が行かない所へも
=> 有名な観光地へ行く**ばかりではなくて**、
- 一人で旅行する**ことにより**、友達と一緒に => 旅行する**より**
- 私はいつもブラジルに行き**たがっている** =>
行き**たい**と思っている

図7 Entrance・Exit 表記誤用概観



漢字の誤用: Entrance (10%) => Exit (17%)

五つの傾向

1. 似ている漢字を使用

例: 族行=>旅行 放行=>旅行

家矢=>家族 いい元気=>いい天気

体む=>休む 本を続む=>本を読む

一者=>一緒 中国=>中國

2. 同訓意義の漢字を使用

例: 家族に合う=>家族に会う

熱い所が嫌い=>暑い所が嫌い

飛行機の方が早い=>飛行機の方が速い

始めて行きました=>初めて行きました

3. 独自に作り出した漢字を使用

例: **来**年=>**来**年 **歴**史=>**歴**史 **両**親=>**両**親

飛行機=>**飛**行機 **林**の中を **赤**く=>**森**の中を **歩**く

馬が **多**い=>**島**が **多**い 遅く **寝**る=>遅く **寝**る

4. 組み合わせが逆 (漢字2字のもの多し)

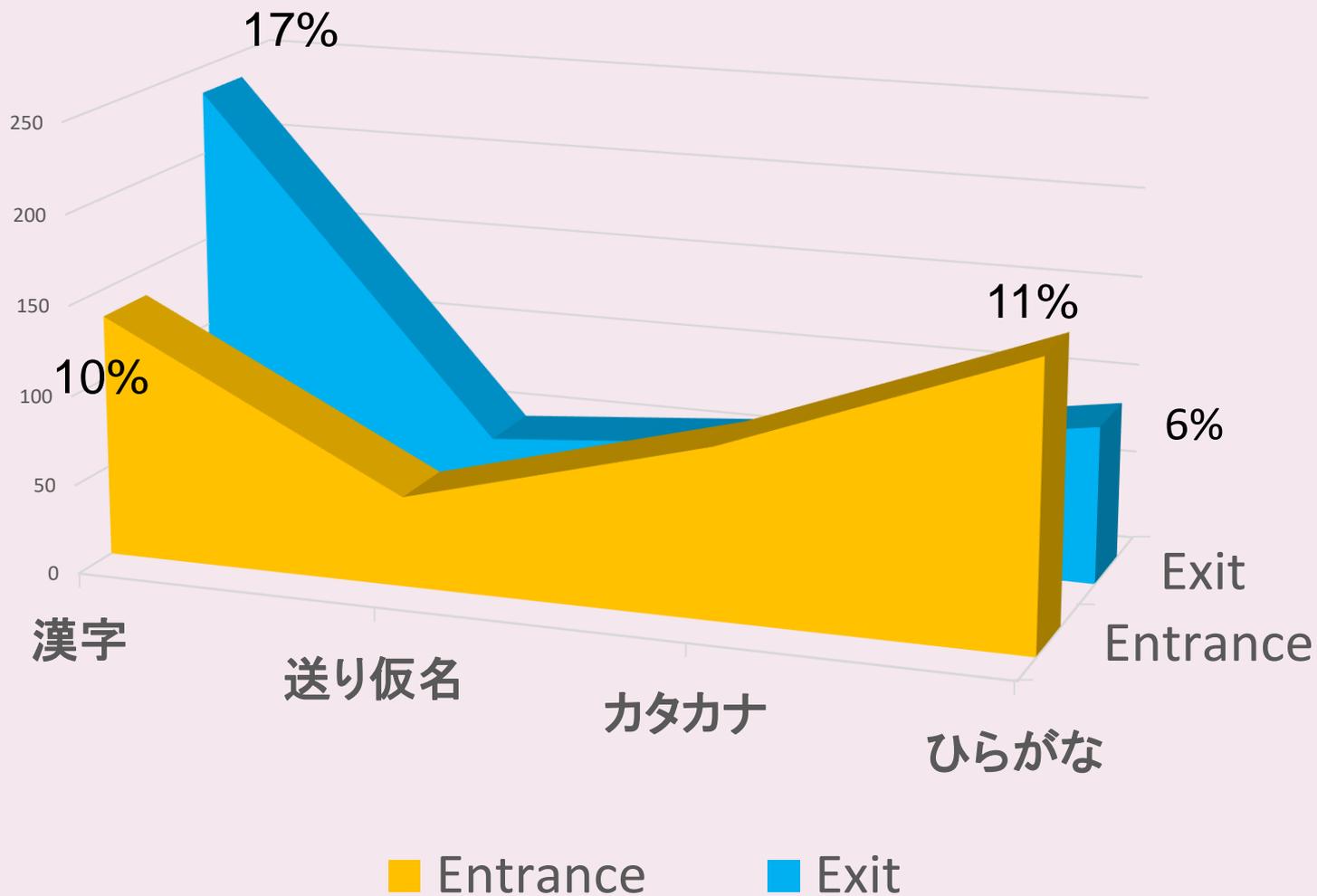
例: **理料**=>**料理** **族家**=>**家族** **業卒**=>**卒業**
利便=>**便利** **会教**=>**教会** **所場**=>**場所**

5. 中国語の漢字を使用

例: **國**=>**国** **毎**日=>**毎**日 **樂**しい=>**楽**しい

勉強=>**勉強**

図7 Entrance・Exit 表記誤用概観



ひらがな表記の誤用:

Entrance (11%) / Exit (6%) とともに長母音「お/う」
(表記「う」)に関するもの多し

1. 「う」が必要なのに「う」がない

例: りよこ => りよこう

も一度 => もう一度

ゆめいな所 => ゆうめいな所

どして => どうして

どぶつ => どうぶつ

2. 「う」は不要なのに「う」を入れる

例: りようこう => りよこう

きようねん => きよこねん

さんぽう => さんぽ

りようかん => りよこかん

まつうり => まつこり

カタカナ表記の誤用:

Entrance(7%)/Exit(5%)とともに場所に関するもの多し

例

- ハワイー、ハーワイ、ハワーイ=>ハワイ
- ヨロパー、ヨッロパ、ヨロッパ=>ヨーロッパ
- スペーン=>スペイン
- ロマ=>ローマ
- パーリ=>パリ
- ベーチ=>ビーチ

語彙の誤用:Entrance (12%)=>Exit (18%)

Exitにおける語彙の誤用:三つの傾向

1. 意味が似ている漢語の使用

- 例 ●そこで、一週間楽な**人生**をしました。=>楽な**生活**をしました
- 結婚式に**参加**しました=>結婚式に**出席**しました
 - 値段**が安いところに住みたい=>**物価**が安いところ

2. 英語では一つの動詞だが日本語では文脈により異なり、適切でないものを選択

- 例 ●将来、ハワイでのんびり**住**みたい=>のんびり**暮**らしたい
- 文化について**習**いました=>文化について**学**びました

3. 英語のI have、there is の直訳

- 例 ●とてもいい経験**が**ありました=>いい経験**を**しました
- ハワイはいつもいい天気**が**あります=>天気**が**いいです
 - そこにはいい景色**が**あります=>そこは景色**が**いいです

一文レベルの誤用：呼応に関する誤用

試験	呼応の誤用数
Entrance Exam	0
Exit Exam	19

例：

●私の一番行きたいところはハワイです。**なぜなら**、ハワイはアメリカの州ですから、それへ行けば、外国に行く間題が**ありません**。=>問題が**ない**からです。

●日本へ帰る時に、最初を**すること**のはお好み焼きをも一度食べる**つもり**だ。
=>食べる**こと**である。

●アルバイトをして、ちょきんし始めたその自由はひまとお金があれば、ヨーロッパにある有名な美術作品を見られるようになる**こと**である。=>見られるようになる**から**である

●私がアイスランドに行きたいりゅうはきょう年、私がヴァイキングについて歴史のじゅぎょうを**とりました**。=>**とった**からです。

談話レベルの誤用

1 文末の誤り

1a 「です・ます」体と「だ・である」体の混在

例 ● 私は日本料理が好きです。日本料理は体にいいのではない**だろうか**。だから、時間があつたら、是非日本へ行きたいです。

1b 文体の活用誤り

- 例 ● そこはとても面白い**である**
- 歩くのは健康のためにいい**である**
 - 旅行は非常に楽しい**である**
 - 本当にいろいろ経験した**である**

2 文末なし（「です・ます体」を使用しているにもかかわらず）

例 ● お父さんとお母さんはいつも忙しいですから、三人の旅行をすることはありませんでした。ヨーロッパはとてもたのしかったです。また、三人一緒に**行きたい**。

- 私はタイ料理がすきですから、タイ旅行はとても**楽しかった**。

5. 作文を書く上での「壁」は何か

2018年春のExit Exam 直後に中級日本語
学習者(13名)を対象にアンケート実施

アンケート結果

Q1. What difficulties did you experience when trying to write your exit essay? Please circle all that apply. (Multiple responses: 46)

Grammar (9)

Vocabulary (6)

Sentence Cohesion (6)

Kanji (5)

Katakana (4)

Conjugation (3)

Essay structure (3)

Point of View (2)

Spelling (2)

Particles (1) (助詞が難しいと言っているのは1人のみ。実際は助詞の誤り多し)

Tense (1)

Use of Modality (1)

Collocation (1)

Metaphor Usage (1)

Punctuation (0)

Other Time

6. どのような環境下で頻繁に起こるのか、
またなぜ起こるのか：作文の内容との関連性

作文の内容は二つに分けられる

1) 自分が実際に経験した理想の旅について語る

2) 自分がまだ経験したことがない理想の旅に
ついて語る

自分が経験した旅について 例

二月前に、わたしはイタリアへ行きました。とても楽しかったです。わたしは びじゅつかんをたくさん見ました。びじゅつかんの中にきれいな えがき がありました。ラファエルのディスプレイが いちばん好きでした。それから、わたしは いい レストランへ イタリア料理を食べに行きました。とてもおいしくて、アメリカ料理とちがいました。そして、わたしは 町を さんぽしました。ローマは人が 多い です。わたしは さんぽしたから、 親見せ刀な人に 会いました。きれいな ホテルに どりまりました。まどから けしきが 見えました。それから、きれいな 音が きこえました。それはわたしが いちばん いい 休み でした。

まだ経験したことのない旅について 例

外国語の勉強はその国の文化を理解するという点で、大変重要です。それで、今日本語の勉強をしているのは、日本に旅行したいためです。日本語が話せるようになったら、日本の文化がもっとかおしく理解できて、旅行の楽しみが深まります。日本ほど、文化的な観光の名所がたくさんある国はほとんどありません。神社を始め、寺や芸術館といった面白い所がたくさんあります。それに、自然と関わることもできます。山、海、^木林、川などの自然は日本人の生活に欠かせないものなので、はなでしよう。日本のきれいな自然の景色に親しむなら、その旅行はぜひかんぺきた"と思います。

作文の内容

	自分が経験した理想の旅	まだ経験していない理想の旅
Entrance の作文 100本中	39 (39%)	61 (61%)
Exit の作文 100本中	35 (35%)	65 (65%)

時制に関する誤用 (作文の内容との関連性)

	時制の 誤用数	経験した旅	まだ経験して いない旅
Ent.	55	35 (65%)	20 (35%)
Exit	18	18 (100%)	0 (0%)

Ent 例 海も見ました。さむいですから、およぎませんでした。

私はそこでビデオゲームをしました。たのしいです。
むずかしいです

7. 200本の誤用分析から分かったこと

- ① 誤用には学習者の習得段階が如実に表れる。
すなわち、学習者の日本語能力の習得結果と言える。
- ② 誤用に対する我々教師(指導する側)の考え方を变える必要がある。

誤用は誤り(ネガティブ) => **誤用は成果(ポジティブ)**

- ③ 誤用は我々教師が次に何を教えたらいいか、どんな教材を準備したらいいかを示してくれる重要な指針である

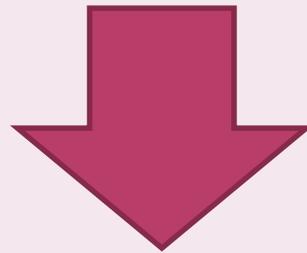
分析結果をどう活かしていったらいいのか？



8. 分析結果の応用： 漢字に関して 初級の漢字を中心に練習問題作成

私の友達は五日(A.門 B. 聞 C. 閉 D.間)東京にいました。

私は(A. 毎 B. 海 C. 每 D. 海)日バスで学校へ行きます。



私は 朝、新 を読みます。

Every morning

Newspaper

8. 分析結果の応用: 語彙＋活用＋文末

「今年日本へ旅行に来た外国人 6か月で最も多くなる」
(NHK Easy News: 7月20日 11時30分)

日本政府観光局によると、今年1月から6月までに日本へ旅行に(来た)外国人は1589万8900人(でした)。去年と(比べて)15.6%、214万人(増えました)。6か月に(来た)人では、今までで最も(多く)(なりました)。

最も(多かった)のは中国から(来た)人で、406万人(でした)。去年と(比べて)23.6%(増えました)。

次に(多かった)韓国から来た人は、18.3%増えて、402万人(でした)。台湾から(来た)人は9.5%(増えて)251万人、香港から(来た)人は2.5%(増えて)111万人(でした)。

8. 分析結果の応用:

語句接続と文法表現の誤用に関して

その文法が導入された時には理解できても、また新しい、似ているものが入ってくるため、混乱が起きる。

=>そこでこの一年間学んだ似ている
文法、表現のまとめハンドアウトを
作成し、Exit前に配布する

似ている文法のまとめ (バラバラに教えてきたものを一つにまとめ、ハンドアウトの形で学生に配布)

似ている文法の復習

よう sentences

- ① **V dictionary + ようになる; have reached the point where one does do something~**
(例1) 毎日練習すれば、泳げるようになりますよ。
(例2) やっと自転車に乗れるようになった。
(例3) 最近、ショパンの曲がひけるようになった。
- ② **V1 dictionary/V1 plain non-past negative + ように、V2: ~so that~**
(例1) 速く泳げるように、毎日練習しています。
(例2) よく見えるように、もう少し大きく書いてください。
(例3) 電話番号を忘れないように、メモしておく。
- ③ **V1 dictionary/V1 plain non-past negative + ようにする; try to~**
(例1) 毎日一時間は運動するようにしています。
(例2) もっと野菜を食べるようにしてください。
(例3) 明日は絶対に時間に遅れないようにしてください。
- ④ **Plain style sentence + ようだ: it seems that~**
(例1) スミスさんは日本文学が好きなようだ。
(例2) 小川さんの話は本当のようだ。
(例3) きのうの晩、雨が降ったようだ。
- ⑤ **V1 dictionary/V1 plain non-past negative + ように言う・頼む: tell/ask somebody to do**
(例1) 田中さんに明日早く来るように言ってくれませんか。
(例2) 先生にクラスに遅れないように言われた。
(例3) 山田さんに引っ越しを手伝ってくれるように頼んだ。
- ⑥ **る V/Irreg.V volitional (よう) + とする: try to**
(例1) 私の犬はドアを開けると、いつも外にでようとします。
(例2) 町中の人が一つになって成功させようとします。
(例3) 寝ようとしたが、外がうるさくて寝られなかった。
- ⑦ **る V/Irreg.V volitional (よう) + と思っている: I am thinking of doing~**
(例1) 大学を卒業したら、日本で英語を教えようと思っている。
(例2) 来年、中国に留学しようと思っている。
(例3) 今度こそ、たばこをやめようと思っている。
- ⑧ **V plain + ように: as one does/did~**
(例1) ここに書いてあるように、今日はこの駅に電車は止まりません。
(例2) 友達から聞いていたように、このクラスはとても大変だ。
(例3) この資料を見ればわかるように、国際結婚が最近増えています。

ほど sentences

- ① **Noun/V plain Affirmative + ほど + Negative: not as~as Noun; not as~as one does/did**
(例 1) 一月は二月ほど寒くない。
(例 2) ニューヨークは昔ほど危なくありませんよ。
(例 3) この映画は思ったほどおもしろくなかった。cf. この映画は思ったよりおもしろかった
- ② **V plain non-past + ほど/ぐらい: to the extent that~; so~that~**
(例 1) この頃、週末も働かなければならないほど忙しい。
(例 2) おかしくて、おなかが痛くなるほど笑った。
(例 3) この漢字は、日本人でも書けない人がいるぐらい難しい。
- ③ **~て、Plain style sentence + ぐらい/ほど: so~that~**
(例 1) 最近忙しくて、寝る時間もないぐらいだ。
(例 2) 宿題がたくさんあって、泣きたいぐらいだ。
(例 3) 非常に強い風が吹き、歩けないぐらいだった。
- ④ **Noun + ほど + Noun phrase + は ない/いない: there is no other~as much as Noun**
(例 1) 田中さんほどまじめな人はいない。
(例 2) サッカーほど、世界中の人々に愛されているスポーツはない。
(例 3) 日本語ほどおもしろい言語はない。

ことにする vs ことになる

- ① **V plain non-past + ことにする/ことにしている: decide to/ make it a rule to**
(例 1) 彼女と話して、来年の春に結婚することにしました。
(例 2) みんなが集まったら、始めることにしましょう。
(例 3) 私は一週間に三回泳ぐことにしている。
- ② **V plain non-past + ことになっている: it is customary that~**
(例 1) 日本では、うちに入る時にくつをぬぐことになっている。
(例 2) 教室では、食べたり飲んだりしてはいけないことになっている。
(例 3) 日本では、車は 18 歳から運転してもいいことになっている。
- ③ **V plain non-past + ことになる: it will be decided that~; it will turn out that~**
(例 1) 今年の夏、京都に留学することになりました。
(例 2) あのう、実は、来年結婚することになったんです。
(例 3) 今、ちゃんと勉強しておかないと、将来、困ることになりますよ。

ことがある vs ことはない

- ① **Plain + non-past + ことがある: there are times when～**
 - (例 1) 天気がいい日には、東京から富士山が見えることがある。
 - (例 2) クラスに遅れることはありますが、休むことはありません。
 - (例 3) この辺はいつもうるさいけれど、静かなこともある。
- ② **V past + ことがある: have the experience of doing～**
 - (例 1) 北海道で馬に乗ったことがあります。
 - (例 2) 生け花をしたことがあります。
 - (例 3) 私はまだ一度も歌舞伎を見たことがない。
- ③ **V dictionary + ことはない: it is not necessary to～; there is no need to～**
 - (例 1) まだ時間があるから、急ぐことはありませんよ。
 - (例 2) 友子さんが悪いわけじゃないから、あやまることはありませんよ。
 - (例 3) 私のを貸してあげるから、買うことはないよ。

というのは vs ということは

- ① **Noun1 + というのは Noun2 + のことだ: Noun1 means Noun2**
 - (例 1) 駅弁というのは駅で売られているお弁当のことだ。
 - (例 2) 先輩というのは自分より先に会社や大学に入った人のことだ。
 - (例 3) 英和辞典というのは、英語の言葉の意味が日本語で書いてある辞書のことだ。
- ② **Plain style sentence1 + ということは Plain style sentence2 + ということである: S1 is interpreted as S2**
 - (例 1) 先生が来られないということは、今日は授業がないということですね。
 - (例 2) お金がないということは、今日は払えないということですか。
 - (例 3) 19 歳だということは、日本ではまだお酒が飲めないということですね。

によって vs にとって

- ① **Noun/Embedded question + によって: depending on～**
 - (例 1) どんなことについても、人によって意見が違うのが普通だ。
 - (例 2) だれが来るかによって、どんな料理を作るか決めようと思っている。
 - (例 3) 車を持っているかどうかによって、人々の生活は変わる。
- ② **Noun/V dictionary + こと + によって・により: with～; by～**
 - (例 1) 父の転勤によって、新しい生活が始まった。
 - (例 2) インターネットによって、世界中の事が楽に調べられるようになった。
 - (例 3) 何度も辞書を引くことにより、漢字を覚えることができる。
- ③ **Noun + にとって: for～; to～**
 - (例 1) 大学院に行くのがスミスさんにとって一番いいと思います。
 - (例 2) 今では携帯電話は若い人にとってはなくてはならない物だ。
 - (例 3) あなたの国で、子供にとって一番楽しい行事は何ですか。

わけ sentences

① Plain style sentence + わけだ: it means that~; that's why~; no wonder~

(例 1) 去年この辺はあまり雪が降らなかった。つまり、スキーができなかったわけだ。

(例 2) 日本では石油がほとんど出ない。つまり、輸入しなければならないわけだ。

(例 3) A: 山本さんは、アメリカに十年住んでいるそうですよ。

B: ああ、だから英語があんなに上手なわけですね。

② Plain style sentence + わけではない: it doesn't mean that~; it's not that~

(例 1) 試験の前ですが、一日中勉強しているわけではありません。

(例 2) 日本人だからといって、必ずしも寿司が好きなのわけではない。

(例 3) この本は漢字が多いけれど、読めないわけではない。

③ V dictionary/V plain non-past negative + わけにはいかない: cannot (because it's not appropriate to do so); have to (because it would be inappropriate not to do so)

(例 1) お酒を飲んだから、今夜は車を運転するわけにはいきません。

(例 2) これは友達から借りている物だから、貸すわけにはいかない。

(例 2) 明日は試験があるので、今日は勉強しないわけにはいかない。

ひとつも vs いくつも

① ひとつ+も+ Negative: not even one

(例 1) 試験の時、漢字がひとつも書けなかった。

(例 2) 夏休みに映画をたくさん見たが、おもしろものはひとつもなかった。

(例 3) 姉はデパートでケーキをたくさん買ってきたのに、私にはひとつもくれなかった。

② いくつ+も: many

(例 1) そんなにいくつも食べるとおなかが痛くなりますよ。

(例 2) この漢字は読み方がいくつもあります。

(例 3) 佐藤さんは、かわいい帽子をいくつも持っている。

よう (similarity) vs らしい (typicality)

① Noun+よう: it is like; it is as if~

(例 1) 東京はニューヨークのようです。

(例 2) 私は『こころ』のような小説が好きです。

(例 3) 東京はニューヨークのように込んでいます。

② Noun+らしい: typical of~

(例 1) 今日は暖かくて春らしい日だった。

(例 2) 鈴木さんは日本人らしくありませんね。

(例 3) 子供なら子供らしく、もっと外で元気に遊びなさい。

9. 今後の課題

1. 学習者の母語と日本語の作文における誤用から学習の成果を探る。
2. 中級学習者の誤用と上級学習者の誤用を比較・検討し、そこから学習の成果を探る。

参考文献

- 青柳にし紀(2003)「中上級日本語学習者の作文の特徴」『信大日本語教育研究』第3号 pp. 46-58
- 市川保子(1997)『日本語誤用例文小辞典』凡人社
- 市川保子(2000)『続・日本語誤用例文小辞典』凡人社
- 市川保子(2001)「日本語の誤用研究」日本語教育通信 日本語・日本語教育を研究する 第16回
- 大塚薫・林翠芳(2010)「中級レベルの日本語学習者の作文教育—意見文にみる語彙・漢字使用及び誤用の分析結果を踏まえて」『高知大学総合センター修学・留学生試験部門起用』第4号 pp. 47-66
- 加藤重広(2014)『日本人も悩む日本語—ことばの誤用はなぜ生まれるのか?』朝日新書
- 寺村秀夫(1990)『外国人学習者の日本語誤用例集』(大阪大学; PDF版、国立国語研究所、2011年)
- 村田明(2015)「留学生の日本語作文に見られる誤り—単一文の場合—」信州大学留学生センター紀要 第4号 pp. 57-68
- 森田良行(2005)『外国人の誤用から分かる日本語の問題』明治書院
- 森本一樹(2015)「中級日本語学者の作文における語彙使用の誤用と問題点」『国際日本語教育部門3ヶ年プロジェクト成果報告論文集2』東京外国語大学国際日本研究センター pp. 99-105

「誤用」から日本語学習の「成果」をはかる試み

--- 中級学習者による「旅」の作文を用いて ---

Interpreting the 'Development' of Intermediate Japanese Learners
through 'Error Analysis' on Essays Regarding Travel

ネスター・セラノ Nestor Serrano
入戸野みはる Miharu Nittono

(コロンビア大学 Columbia University)

